

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 椿の里

作成日: 令和 4 年 1 月 12 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		若手職員の人材確保と育成	法人全体として取り組んでいることだが難しい状況である。現在50代半ばの職員が中心となり頑張っているが、5年先、10年先を見越して若手職員を確保し、次のリーダーを育てていく。	職員を大事にする法人の魅力を発信し、外部の研修や会議の場でアピールすることで知ってもらう事から始める。紹介制度の導入や実習生を積極的に受け入れることで、幅広い年代の職員を獲得し、サービスの幅を広げていく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回避難訓練を行い、職員全員が、非常時に冷静に行動出来るかが不安である。今後は訓練を頻繁に行える体制を整え、職員一人ひとりの意識と技術を高めていく。	利用者を巻き込まずに、職員が、職員と利用者役に分かれ、避難場所を特定し、目標タイムを設定して夜間想定訓練を定期的実施し、利用者が安全に避難場所で待機できる体制を整えていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。